

平成29年度

事業報告(案)

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

社会福祉法人 北日野こもれび会

障害福祉サービス事業所

ぴーぷるファン

第2ぴーぷるファン

共同生活ぴーぷるファン

基本理念及びそれに基づく基本方針

理 念

障害のある人の、人生を輝かせる職場の提供と、人生を楽しむ暮らしを支援する。

- * 第1ピーぷるファン月平均 30.6 名×12 ヶ月=367.2 名
- * 第2ピーぷるファン月平均 16.8 名×12 ヶ月=201.6 名
- * 共同生活 月平均 8 名×12 ヶ月=96 名 に支援を実施いたしました。

基本方針

1 利用者の人権と主体性の尊重

障害者の社会生活及び日常生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者個人が尊厳を持ちその人らしい生活を送れるように支援します。

2 利用者のエンパワメントの視点に立った自立促進

個別支援計画に基づき、自らの生きる力を高め自立自助を目指す多様なニーズに応える指導・支援をします。

- * 個別支援計画・モニタリングに基づいて計画的に支援しました。
- * 平成29年度は一般就労者1名でした。

3 安全で安心充実した地域生活の確立

工夫された日常生活や社会参加活動等の体験・訓練を通じて、精神や身体を鍛え、心身の健康と、安心・安全な充実した地域生活が送れるように支援します。

- * 鍛錬会・宿泊訓練等施設外にて実施をしました。

4 感情を育成し生き生きとした日常生活を獲得する

生きるのに必要である「意欲」や行動の原点となる「やる気」を育成するため、多方面に渡る療育事業を実施し、もって感情全体を育成する。

- * 各種療育事業（運動・調理・音楽・ダンス等）を実施しました。

平成29年度 事業所の努力目標

努力目標

(1) 地域福祉（CO手法の利用・構築）

「地域に根ざす障害福祉サービス事業所」「社会の一員」ということを前提に、地域社会をはじめ各種団体との交流を発展させ、他事業所との交流、企業・ボランティアの積極的導入を年間通して実施する。また、学校関係・各種団体・地域企業等との強い信頼されるネットワーク作りを拡大するよう努めると共に、地域の人々と好ましい関係を作る。これらは自立への大切なプロセスとの認識により、地域との連携を深めていきます。

- * 県立特別支援学校3校より、保護者見学研修及び就労支援体験実習及び日中一時支援事業による高等部生徒の受け入れを実施しました。
- * 県内各地相談事業所・障がい福祉サービス事業所より見学・就労実習受入れ多数実施。
- * 市内婦人福祉協議会見学研修受入れ。
- * 日産労連より人形劇観覧北日野地区の学童・北日野認定保育園を地区婦人会ボランティアの協力を得て招待する。
- * 越前市および市社会福祉協議会より生活困窮者自立支援について聞き取り調査等協力
- * 旧市内火災復興イベント参加
- * 越前市東地区菜の花催事参加
- * 鯖江つつじ祭り参加
- * 越前町陶芸祭り参加
- * 越前市ふるさと踊り参加
- * 越前市福祉フェア・ちびっ子フェア参加
- * 第2回越前市長杯FD大会参加
- * 越前市赤十字奉仕団様個人ボランティア受入れ（菊人形販売応援）
- * 越前市新任職員研修講師
- * NPO 法人越前市障がいスポーツクラブ運営に協力（理事長・理事・講師他）
- * 越前市地域公益活動推進協議会（通称笹ネット）参加
- * 武生ライオンズクラブ交流販売会実施

(2) 職員の資質向上

臨床（実践的対処）は、人材であり、高度な技術のある福祉サービスを提供し続けることや、次世代へ事業を引き継ぎ、切れ目の無いサービスを行うためにも、職員の育成は欠かすことのできないものである。また、福祉サービスの基本理念に支えられた福祉事業所は、コンプライアンスルールの確立はもとより、管理者を含む職員一人ひとりにおいて、社会福祉分野における国家資格制度としての、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士または、社会福祉主事等の、資格取得を目指すとともに、各種研修制度を活用し、新しい時代の福祉サービス人としての一層の知識と見聞を広め資質の向上を図ります。

- * 制度改革セミナーに多数参加

(3) 非常緊急時の体制整備

障害福祉サービス事業所には、利用者の生命財産を守るという絶対的使命があります。日常の事業所運営においては、非常事態における生命財産の保護に備えた体制整備が絶対視されています。災害時や、事故、急病などに対処した緊急時地域協力体制などの整備も目標としていきます。

* 消防設備点検等実施

* 防災訓練実施年2回

* インフルエンザ予防接種（希望者）

(4) 高齢化・重度多様化対策

利用者の高齢化・障害重度多様化対策として、各種療育プログラム（音楽療法・運動療法等）の充実を図り、余暇・レクリエーション支援も実施する。地域のあらゆる社会資源との協調体制を進めていき、環境整備・処遇向上に努めます。

* **各種事業参照**

生活支援の目標

次の事を重点的に、基本的な生活習慣の確立、集団生活への適応を養う。

- (1) 健康・衛生・安全に気を配り、丈夫な身体を作るよう支援します。
- (2) 目標を持ち、決まりや約束はかならず守れるように支援します。
- (3) コミュニケーションの第一として、元気でさわやかな挨拶の励行が出来るよう支援します。
- (4) 生き生きと、明るく素直で、お互いが助け合う思いやりの心と感謝の心を養うよう支援します。
- (5) 余暇を上手に使うよう支援します。
- (6) 健全な金銭感覚を養うよう支援します。
- (7) 地域社会との交流や行事に参加するよう支援します。
- (8) 新聞・ラジオ・テレビ等に目を向け、社会の動きに関心を持てるように支援します。
- (9) いろいろな体験を通じて、生きる意欲・就労へのやる気を含めた感情を育てていきます。

各種療育事業を駆使し、感情を育成する。

- (1) 生き生きとした生活をしてもらう為にやる気や意欲といった最も育成しなければならない感情は、それ自体では育成しづらいものであるがゆえに、各種の療育事業（レクリエーション療法・音楽療法・運動療法・各種コンテスト・スポーツ大会その他カルチャー講座）を年間通して実施し続け、これを通して利用者個々の感情を豊かに育成します。

就労指導の目標

技能の開発と訓練・職場マナーの涵養

- (1) できるだけ多種多様な生産活動に挑戦し、それぞれの利用者が持っている潜在的な能力が開発され、活かされるように努めます。
- (2) 委託加工においては、年間の作業量の目標達成及び正確かつ能率的な作業を目指します。
- (3) 自主生産及び販売事業においては積極的な新商品の開発に取り組むとともに、地域社会との融合を図っていきます。

職業的技術の向上と職場での適用能力を養う。

- (1) 職場体験実習・施設外就労実習を通して、自立・自活の認識を深め、社会生活に順応できる力を育て、働く喜びを高め且つ一般就労への力を育てていきます。

平成29年度 ヒヤリハット報告

発生件数	14
------	----

1. ケガの有無

有り	無し
6	8

2. 発生した場所

施設内	施設外	不明
8	5	1

3. 発生したときの状況

個人	利用者間	その他
7	6	1

4. 発生要因

心的要因	環境要因	その他
7	2	5

5. リスクの評価

重大/致命	中程度	軽度
0	8	6

6. 改善の有無

改善済み	未改善	該当なし
12	0	2

(中程度リスクより内容報告)

利用者	状況	対応	通院等
S・S (46歳男性)	他の利用者に対する暴力	同様の他傷行為が何度もあり、改善が見られないため退所処分	なし
K・D (29歳男性)	駅のトイレや電車内で女性にわいせつ行為	駅通所を中止し、送迎車の利用を開始	なし
K・T (54歳男性)	機械補助の作業中、足が痛くなり転倒	緩衝剤製品の上に転倒したため外傷なし	なし

平成29年度 事業報告

月	内	福祉の店運営	研修計画
4	所内花見パーベキュー会 (12日) (主任・上田・山本)	福井県・各市町役所 販売継続(通年事業) 販売責任者・主任	○J T(所内研修)随時 フォークリフト資格研修 室谷
5	定例決算理事会 (26日金) 利用者県外2泊研修 (21~23) (次長・金岡・松原)	鯖江つつじまつり販売 (4月29~5月7日) 越前陶芸祭り販売 (27~29日)	県社協主催各種職員研修会 防火管理者資格研修2日間 伊藤 虐待防止研修 浅野未実施
6	決算評議員会 (23日) 県障害者スポーツ大会 (4日) (上田・浅野・馬場) 春季鍛錬会 (荒井・山田・川口)		日本セルフ研究大会 (8・9日東京中野) 田・上田・山本 就労支援員資格研修3日間 馬場未実施
7	夏季鍛錬会 (14・15日) (山本・山田・伊藤) 防災訓練 (避難・通報) 14日山田防災マネージャー		日本知的福祉協会施設長研修(4・5日横浜) 次長・金岡・馬場 北陸地区知的福祉協会職員研修 (6・7日新潟) 荒井・上田 全国セルフ総合研究大会 (27・28日神戸) 田・伊藤
8	ふる里踊り(13日) (馬場・金岡・川口) 盆休み (14~16日)	梨販売キャンペーン (7月・8月・9月) 金岡・川口・上田	全国GH研修会 (27~29) 福井 主任・山田
9	利用者定期健康診断 12日 (主任) リフレッシュデイ USJ(25日) (主任・荒井・浅野)		全国知的福祉協会職員研修会 (27~29日愛知) 次長・川口・松原 ・職員県外視察研修 (16~18日)
10	福井県知的障がい者ペタンク大会参加5日 福井県総合スキルコンテスト出場7日メダル多数。 全国障がい者スポーツ大会 (26~31日) 愛媛県主任・利用者2名参加(内1名銀メダル獲得) 防火管理者講習 26・27日 GH支援員山田味	たけふ菊人形販売 (10/5~11/5)	
11	越前市障害者スポーツ大会 12日 (荒井・伊藤・松原)		東海北陸セルフ職員研究大会

	(FD 市長杯) 福井県障がい者総合スキル大会 7 日 (山田・山本・馬場)	(岐阜 31・1 日) 主任・浅野・川口 全国知的福祉協会生産部会 (9・10 兵庫) 田・長
1 2	5 日インフルエンザ予防接種 (希望者のみ) 利用者文化祭・忘年会(17・18 日) (次長・川口・金岡) 防災訓練 15 日 (避難・通報) 山田防災マネージャー そば打ち会 (16 日) 年末大掃除(28 日) 餅つき大会(29 日) 年末年始休 30 日～1 月 3 日	12 月 (1・2 日) 日本セルフ菓子部会実地研修 栃木主任
1	初詣 (6 日)	
2	冬季鍛錬会 (中止大雪の影響) 定例予算理事会 16 日	恵方巻販売 3 日 (主任・金岡・上田) 全国セルフ施設長研修会 (22・23 名古屋) 田・長
3	定例評議員会 9 日	

日 課 表(平日)

時 間	業 務 内 容	
7 : 2 0 ~ 8 : 1 5	通所 (送迎バス・自転車・家族自家用車送迎)	
8 : 1 5 ~ 8 : 3 0	利用者着替え・体操・職員朝礼	
8 : 3 0 ~ 8 : 4 0	全体朝礼 (健康チェック) 1 0 分	
8 : 4 0 ~ 1 0 : 2 0	班別打合せ・清掃・作業その 1	1 0 0 分
1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0	休憩	
1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	作業その 2	9 0 分
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 (歯磨き・共同利用各所清掃・休憩)	
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業その 3	9 0 分
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0	休憩	
1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 5	作業その 4 (清掃後始末等 5 分) ・・・冬期間は 16 : 00 作業終了 後始末・着替え等	9 5 分
1 6 : 1 5 ~ 1 6 : 2 0		

16:20～17:10 利用者帰宅（送迎バス・自転車・家族送迎）

*（土曜日の日程・取扱い）

午前8時00分より午後2時までとする。

療育プログラムに添って、運動・音楽・調理・生活・学習等の各種セラピーを実施する。

* その他、四季に応じた、鍛錬会・各種体験事業を取り入れる。

* 土曜日の日中一時開所時間も上に同じ
